

MOMAK Collection  
Graphics in  
Vienna  
around 1900  
New Design for a New Way of Life

京都国立近代美術館所蔵

世紀末ウィーンのグラフィック  
デザインそして生活の刷新にむけて

2019年1月12日(土)-2月24日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時、ただし金曜日と土曜日は午後8時まで(入館は閉館の30分前まで)  
休館日：毎週月曜日、ただし1月14日(月・祝)と2月11日(月・祝)は開館し、翌火曜日は休館  
主催：京都国立近代美術館、読売新聞社

京都国立近代美術館(岡崎公園内)  
The National Museum of Modern Art, Kyoto



# I

1867年に、「時代はその芸術を、芸術にはその自由を」という有名なモットーを掲げて、ウィーン分離派(正式名称: オーストリア造形芸術家協会)が結成されました。芸術デザイナーの刷新を求める彼らが重視した活動が、展覧会活動と機関誌『ヴェルサクルム(聖なる巻)』の刊行です。

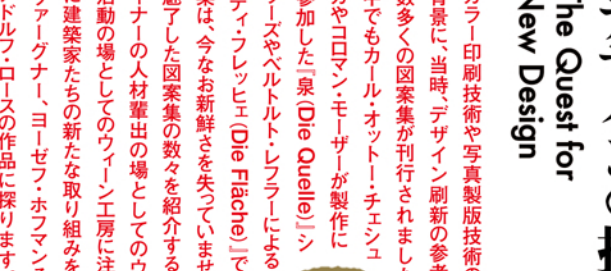


グスタフクリムト(医学)  
1899-1907年  
(第2次世界大戦  
中に焼失)

本章では、各展覧会のカタログと『ヴェル・サクルム』の紹介を通して、ウィーン分離派の根幹をなす活動を概観するとともに、分離派の中心人物であるグスタフ・クリムトやその後継者であるエゴン・シーレとオスカー・コシユカの素描作品を紹介しします。

## ウィーン分離派とクリムト

The Vienna Secession and Klimt



当館は、2015年に世紀末ウィーンのグラフィック作品コレクションを収蔵しました。このコレクションにはアパレル会社の創業者、平明暘氏が蒐集したものです。

1897年のウィーン分離派の結成から、1914年の第一次世界大戦勃発までのウィーンでは、グスタフ・クリムトやヨーゼフ・ホフマンらを中心に、新しい時代に相応しい芸術としてデザインの在り方が模索され、数多くの素晴らしい成果が生まれました。中でもグラフィックの分野は、印刷技術の発展や雑誌メディアの隆盛を背景に、新しい芸術の動向を人々に伝え、社会に浸透させる重要な役割を担いました。本展では、300件にのぼる膨大なコレクションの全貌を紹介するとともに、同じく平明氏旧蔵のリヒャルト・ルルクシュによる石膏彫像と貴重なアドルフ・ロースの家具一式をも加え、世紀末ウィーンの息吹と魅力をお伝えします。

# MoMAK Collection Graphics in Vienna around 1900



New Design for a New Way of Life

## II



## 新しいデザインの探求

The Quest for New Design

カラー印刷技術や写真製版技術の発展を背景に、当時、デザイン刷新の参考とすべく数多くの図案集が刊行されました。中でもカール・オットー・チエヌユカや「ロマン・モーザー」が製作に参加した『泉(Die Quelle)』シリーズやヘルムート・フォン・ド・アープレヒエ(Die Fläche)で提案された多彩な図案は、今なお新鮮さを失っていません。本章では、人々を魅了した図案集の数々を紹介するとともに、そのデザイナーの人材輩出の場としてのウィーン工芸学校、活動の場としてのウィーン工房に注目します。さらに建築家たちの新たな取り組みを、オットー・ヴァーグナー、ヨーゼフ・ホフマンそしてアドルフ・ロースの作品に探ります。



ウィーン総合芸術展「クニツェン」のヘルムート・フォン・ド・アープレヒエの展示風景  
1908年



## III

### 版画復興とグラフィックの刷新

The Prints Revival and Innovation of Graphic Arts

19世紀における写真の発明は、それまで視覚情報の複製や記録といった役割を担ってきた版画の存在意義を大きく揺るがし、芸術としての版画への模索という動きを生み出しました。その際に積極的に参照されたのが、当時西欧で大きなブームとなっていた日本の多色木版画です。作品として制作された版画は、絵画に比して廉価ということもあり、広く人々の生活を彩るようになりました。本章では、木版画やリトグラフなど多様な版画手法における新たな試みとその試行錯誤がうかがえる素描の魅力を紹介しします。



分離派メンバー第14回展覧会展示風景(全から右)トーンスタウ、グスタフクリムト(椅子に座る)、ロマン・モーザー(ハットをかぶる)、アドルフ・ロース(マキミリアン・エンリッヒに似る)、エルスト・シムル、ヘルムート・フォン・ド・アープレヒエ、エミール・オルリク、オスカー・コシユカ、マキミリアン・エンリッヒ、アドルフ・ロース、ボルツ、シムル、バルカール・モル、ルルクシュ、バルバール・モリツ、ネー、エドゥアール・ボルト

## IV

### 新しい生活へ Towards a New Way of Life

グラフィックにおける新たな試みは、当時盛んに刊行された美術雑誌や挿入入り雑誌だけでなく、様々な媒体を通して人々の生活へと浸透していきました。日々新しいグラフィック・デザインに触れること、それは生活における新たな意識を生み出すことにも繋がりました。本章では、ボスターやカレンダー、蔵書票といった日常生活に関わるグラフィックの新たなデザイン、そしてグラフィックの刷新を担った人々が手がけた書籍の装丁や挿画の魅力を紹介しします。

① ヴェル  
② ヴェル  
③ ヴェル  
④ ヴェル  
⑤ ヴェル  
⑥ ヴェル  
⑦ ヴェル  
⑧ ヴェル  
⑨ ヴェル  
⑩ ヴェル  
⑪ ヴェル  
⑫ ヴェル  
⑬ ヴェル  
⑭ ヴェル  
⑮ ヴェル  
⑯ ヴェル  
⑰ ヴェル  
⑱ ヴェル  
⑲ ヴェル  
⑳ ヴェル  
㉑ ヴェル  
㉒ ヴェル  
㉓ ヴェル  
㉔ ヴェル  
㉕ ヴェル  
㉖ ヴェル  
㉗ ヴェル  
㉘ ヴェル  
㉙ ヴェル  
㉚ ヴェル  
㉛ ヴェル  
㉜ ヴェル  
㉝ ヴェル  
㉞ ヴェル  
㉟ ヴェル  
㊱ ヴェル  
㊲ ヴェル  
㊳ ヴェル  
㊴ ヴェル  
㊵ ヴェル  
㊶ ヴェル  
㊷ ヴェル  
㊸ ヴェル  
㊹ ヴェル  
㊺ ヴェル  
㊻ ヴェル  
㊼ ヴェル  
㊽ ヴェル  
㊾ ヴェル  
㊿ ヴェル





MoMAK Collection  
Graphics in  
around

# Vienna 1900

京都国立近代美術館所蔵  
世紀末ウィーンのグラフィック  
デザインそして生活の刷新にむけて



2019年1月12日(土)〜2月24日(日)

開館時間：午前9時30分〜午後5時、ただし金曜日と土曜日は午後8時まで（入館は閉館の30分前まで）休館日：毎週月曜日、ただし1月14日(月)と2月11日(月)は開館し、翌火曜日は休館  
主催：京都国立近代美術館・読売新聞社

京都国立近代美術館（岡崎公園内）  
The National Museum of Modern Art, Kyoto

観覧料：一般1000円(800円)、大学生500円(400円)  
\* (内：前売と20名以上の団体料金、夜間開館時(金・土)午後5時以降の夜間割引料金  
\* 高校生以下、18歳未満、心身に障がいのある方と付添者1名は無料入館の際に証明できるものを  
ご提示ください)  
\* 2月24日(日)は天皇陛下御在位30年を記念して入館無料です

「世紀末ウィーン」展の観覧券で「コレクション」原もご覧いただけます  
\* 前売券は、1月11日までの期間限定先売全期中は当日券のみ発売  
前売券の主な発売場所チケットぴあ(PCODE:7693388)、ロケットチケット(コード:54121)  
ほか、主要プレイガイド、コンビニエンスストアなど(チケット購入時に手数料がかかる場合があります)

「関連イベント」

●レクチャー(全2回)  
「世紀末ウィーンとグラフィック―芸術の総合と民主化の試み」  
日時：1月19日(土) 14時〜15時30分  
講師：池田祐子(国立西洋美術館主任研究員)

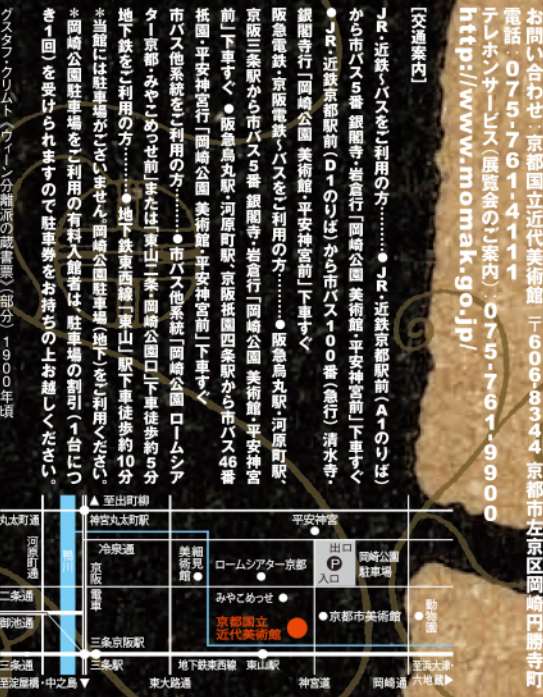
「グラフィック表現の背後にあるもの―世紀末の印刷―」  
日時：2月2日(土) 14時〜15時30分  
講師：寺本美奈子(グラフィックデザイン・キレター/武蔵野美術大学非常勤講師)  
\* いずれも京都国立近代美術館1階講堂にて  
\* 先着100名、聴講無料(11時より1階受付にて整理券を配布します)

●ワークショップ  
「墨流し染でつくるオリジナルハンカチ」  
日時：2月10日(日)  
講師：園部正典(株式会社園部染工代表作家)  
関連レクチャー講師：青木美保子(京都女子大学家政学部准教授)  
\* 申込み方法 詳細は12月頃ウェブページにて告知いたします

●キヤリアー案内役：本橋(仁)当館特定研究員  
日程：1月25日(金)、2月6日(金)、2月15日(金) いずれも17時より  
各日先着20名参加費無料(本展の観覧券が必要)

●NFA所蔵作品選集：MoMAK Films「ウィーン」映画特集  
2月8日(金) 9時(土) \*上映作品スケジュールは当館HPをご確認ください  
お問い合わせ：京都国立近代美術館 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町  
電話：075-761-4111  
テレホンサービス展覧会のご案内：075-761-9900  
<http://www.momak.go.jp/>

【交通案内】  
JR：近鉄バスをご利用の方……JR：近鉄京都駅前(ハ1のりば)から市バス5番線(若尾行)岡崎公園美術館(平安神宮前)下車すぐ  
●JR：近鉄京都駅前(D1のりば)から市バス100番(急行)清水寺・銀閣寺行(岡崎公園美術館(平安神宮前)下車すぐ)  
阪急電鉄：京阪電鉄バスをご利用の方……阪急烏丸駅(河原町駅、京阪三条駅)から市バス5番線(若尾行)岡崎公園美術館(平安神宮前)下車すぐ  
●阪急烏丸駅(河原町駅、京阪三条駅)から市バス46番(平安神宮行)岡崎公園美術館(平安神宮前)下車すぐ  
市バス他系統をご利用の方……市バス(他系統)岡崎公園(ロームシアター京都)みやこめっせまたは、東山二条岡崎公園(下車徒歩約5分)地下鉄をご利用の方……地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分  
\* 当館には駐車場がございません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用ください。  
\* 岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください。



グスタフクリムト「ファイン・ドット」の複製(部分) 1900年頃

